

今年も手作りタオル帽子を寄贈していただきました！

平成 29 年 4 月 19 日、今年も「ホット・ハンドむろらん」の皆さんよりタオル帽子 100 個とアイスノンカバー 30 枚を寄贈して頂きました。

「ホット・ハンドむろらん」は、がん患者さんが「抗がん剤等で脱毛したときのために」とタオル帽子を作製・寄贈する活動をしている室蘭のボランティア団体で、今年で 9 年目を迎えます。代表の久保さん自身もがんを経験し、がん患者さんの頑張る力になればとの思いを込めてタオル帽子を手作りし、北海道内のがん拠点病院などに無償で寄贈しています。当院も毎年たくさんのタオル帽子とアイスノンカバーをご寄附いただき、現在も治療中の患者さんが活用されています。

タオル帽子は1枚のタオルを縫い合わせて作った帽子で、抗がん剤治療薬で脱毛した方の外見ケアのために使用されるものです。肌触り・吸収性が良く、洗濯も可能なので衛生的です。可愛いタオル生地や、リボンをつけたデザインのものなど見ているだけでも楽しい帽子だったり、縫い目が皮膚に当たらないように当て布がしてあったりと、細かい配慮も随所に見られます。

近藤院長から「患者さんのお役に立つよう、大切に利用させていただきます」とお礼の言葉を述べた後、久保さんも「自分たちが作成したタオル帽子が患者さんの力になればうれしい」と話されていました。また北海道がん対策基金の助成を受けられ、今後も活動を広げていくとのことです。

タオル帽子は各病棟や外来化学療法室などにおいてあります。希望される方はお気軽に看護師にお尋ねください。

